

平成 29 年度 第 1 回 しなの鉄道活性化協議会 議事概要

日時 平成 29 年 7 月 5 日 (水)

13 時 40～15 時 10 分

場所 しなの鉄道本社 第一・二会議室

1 開 会

会議成立の報告 (事務局)

委員 26 名中 18 名が出席。出席者が過半数を超えており会議が成立していることを報告。
(協議会規約第 6 条第 2 項)

2 あいさつ

<しなの鉄道活性化協議会会長>

当協議会の会長を務めております、しなの鉄道(株)専務取締役です。よろしくお願いいたします。
本日は大変お忙しい中、当協議会にお集まりいただきありがとうございます。

平素はしなの鉄道の運営に関し、財政的支援、利用促進など様々な場面でご支援、ご協力をいただいておりますこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

本日朝、踏切事故によりダイヤが乱れ、通勤時間帯に重なったこともあり多くのお客様にご迷惑をお掛けしました。大変申し訳ございません。皆様と協力しながら安全・安定輸送に努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

今年 5 月末の取締役会及び 6 月の弊社株主総会にて平成 28 年度決算の報告をいたしましたので、若干ご説明させていただきます。

平成 28 年度の前年は善光寺御開帳と北陸新幹線の金沢延伸が重なり、当社としても非常にお客様が増え、平成 27 年度は過去最高の業績でした。平成 28 年度はその反動減を見込んでいましたが、お陰様で NHK 大河ドラマ「真田丸」の放映効果等もあり、結果的にはほぼ前年並みの業績となりました。しなの鉄道線については輸送人員 1,008 万人と前年度を若干下回ったものの、1,000 万人を達成しました。開業から 2 年目の北しなの線については、開業の年はほとんど雪が降らずにトラブルなく済みましたが、昨年の冬は降雪もあり、特に 1 月中旬の大雪では計画運休等も行いご不便をお掛けしたと思っておりますが、タクシー代行等の手段を用い、何とか乗り切ることができたと思っております。北しなの線の輸送人員は 434 万人と前年度より少し減りましたが、下半期は前年並みとなり、経営目標の 400 万人も達成しました。

観光列車「ろくもん」は、全国的に観光列車ブームが続いているほか、「真田丸」効果もあり、食事付プランで約 80%弱の乗車率と好調でございます。

設備投資については、国、県及び沿線市町の補助を受け、マクラギ交換、電柱建替、田中駅の耐震化工事、屋代駅のエレベーター設置工事等を行いました。

営業収入は、44 億 4 千万円となり、前年度と比べ 4 千万円程増えました。一方、支出は

41億1千万円であり、こちらも前年度より4千万円程増えました。収支は3億3千万円の黒字となり、ほぼ前年度並となりました。経常損益は2期連続の黒字となり、当期純利益は12期連続の黒字となりましたが、子細に見ると、運賃収入は3千万円程減っています。これをカバーしたのは、北しなの線の特例の交付金であり、交付金が前年度より7千万円程増えた結果、収入は4千万円増となりました。支出は、人件費、修繕等の保存費を合わせ1億3千万円程増えましたが、4千万円の増に留まった大きな理由は、電気料金が下がった影響で輸送費用が7千万円程減った結果です。したがってこの要素を分析すると、実は収入で7千万円増、支出で7千万円減、合わせて1億4千万円くらい追い風があったと考えられるため、3億3千万円の黒字ではあるものの、実質2億円ほどの黒字と考えた方がよいかもしいかなと思います。

平成29年度ですが、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映も終わり、いわゆる特需というものはありません。信州DCはありますが、善光寺御開帳や北陸新幹線の金沢延伸、NHK大河ドラマ「真田丸」と比べインパクト面では同レベルの期待はできないと思われ、厳しい状況です。収入が減る一方、経費の増加が見込まれており、昨年度の収支の3億3千万円というベースが、今年度は5千万円程度の黒字しか出ないと見込んでいます。したがって、今年度は一層の効率化、コスト削減はもちろんのこと、収入の確保という面を考えると、一つ目に本日お集まりの皆様をはじめ、一致団結して利用促進を図っていくことが必要です。二つ目は、観光列車や貸切り列車という形で収入を確保していくことです。三つ目は、不動産活用として軽井沢の駅ナカ施設の開発を進めており、来年の春早々にはフルオープンできるのではないかと考えています。北長野駅前の遊休地は、コンビニエンスストアと有料駐車場を民間にお任せし収益を稼いでいきたいと考えています。また、軽井沢の東側に約2ヘクタールの当社遊休地があります。開発の話がなかなか進まず、いわゆる手付かずの状態ですが、このまま待っていても収益に結びつかないため、将来、何か商業施設のような設備が分かりませんが、民間からお話をいただいたときに支障とならないような範囲で何とか稼ぐ手はないかと、暫定的に有料駐車場を整備することで事業を進め、7月下旬には開業予定です。タイムズにお任せすることになっていますが、200台弱の駐車場を暫定的に整備し3年間程度活用したいと考えています。

しなの鉄道線は本年10月で開業20周年を迎えます。これまで皆様に支えていただき地域の足として定着してきましたが、今後は見通しが厳しく、今後20年を見込む中で3つの課題があると考えています。一つ目は、少子高齢化や人口減少がいよいよ本格化しますので、それに伴いお客様の減少傾向が進みます。それをいかに食い止めてむしろ増やしていけるかということが大きな課題です。二つ目は車両更新です。既に経年40年近い車両を運用しており、安全面でも先送りできない時期にきています。したがって、車両更新は待ったなしの課題ですが、国や県、沿線市町の財政支援がどの程度いただけるのかということ踏まえ、最適な車両数をしっかりと検討しながら今後詰めていかなければならない、まずもって経営が破たんするわけにはいきませんので、しっかり経営が成り立つ前提の元で考えていかなければならないと思っています。三つ目は当社の構造的な問題ですが、当社社員の平均年齢が35歳と非常に若く、年々人件費が上がっていくという効率化を図る上で大きな課題があります。

今後の大きな見通しとすれば、一層の効率化を行い、収益向上に向け「ろくもん」を始めとした観光事業の強化、不動産の活用、これらをしっかりとやっていかなければならないと思っています。それらを進めていく上で、皆様のご支援、ご協力はもちろんでございますが、これまではしなの鉄道からの訴えかけがやや弱かったということもありますので、より皆様にコミットしていただけるような形でこの難題を乗り越えていきたいと思っております。実は平成22年に当協議会がしなの鉄道総合連携計画を策定し、その中でしなの鉄道の沿線市町や商工会議所等の皆様、住民の皆様、それぞれがどのような形で盛り上げていくかという方向性は出ています。それに沿って事業を行っていますが、もう少し力強く行っていく必要があると考えておりますので今後ともよろしく申し上げます。

本日は、組織改正に伴う協議会規約の一部改正、平成28年度の事業報告と決算、並びに、平成29年度の協議会事業計画と予算案についてご協議いただく予定になっています。是非とも活発なご協議をいただき、忌憚のないご意見を賜りたいと考えていますので何卒よろしく申し上げます。

以上、開会のあいさつとさせていただきます。よろしく申し上げます。

3 協議事項（議長：会長 協議会規約第6条第1項）

- (1) しなの鉄道活性化協議会規約の一部変更について
事務局から「資料1」を説明。

（異議なし、原案のとおり承認）

- (2) 役員を選任について
事務局から「資料2」を説明。

（異議なし、原案のとおり承認）

- (3) 平成28年度しなの鉄道活性化協議会事業報告について

- (4) 平成28年度しなの鉄道活性化協議会決算について
事務局から「資料3」及び「資料4」を一括説明。
監査報告： 監査委員による出納監査結果を報告。

（異議なし、一括して承認）

- (5) 平成29年度しなの鉄道活性化協議会事業計画（案）について

- (6) 平成29年度しなの鉄道活性化協議会予算（案）について
事務局から「資料5」及び「資料6」を一括説明。

（異議なし、原案のとおり承認）

<議 長>

説明の中で有料ライナーの話がありましたが、有料ライナーについては車両更新の中で考えていかなければならない話であり、現在当社が保有している 115 系車両でお金を付けるわけにはいかない状況です。過去には 169 系の急行車両を使う形や、JR から特急型車両を借りて行いました。これらを鑑みるに、今のボックス型車両で有料ライナーはあり得ず、車両更新の中での構想としてあり、はたして有料ライナーのニーズがあるかどうかの一つの大きな要素になると考えます。アンケートについてですが、平成 21 年に調査をしていますが、当時は 13 社に対しての調査でしたので、もう少し範囲を広げて各企業にどのようなお考えがあるか、通勤に電車を利用してもらうために必要な項目や、通勤手当について実際にどの程度が企業の負担になっているのか等を調査し、今後の参考にしたいということで提案させていただきました。

ア. 予算の収入の部で、増便事業 3 市町の負担金が 2,830 万円程、事業者負担金が 1,625 万円とありますが、この差、負担金が 2 分の 1 でない理由を教えてください。

<事務局>

全ての増便運行にかかる費用、具体的には電気代、人件費、修繕費等を計算します。単年度では変動も大きくなるため、3 箇年の平均値を増便運行に掛かる費用とします。事業開始当初は国から 2 分の 1 補助金が交付され、残りを 3 市町に負担いただきましたが、国の補助金制度がなくなるのに伴い、事業者であるしなの鉄道と 3 市町の負担を改めました。増便効果による収入想定が事業者であるしなの鉄道の負担金であり、運行経費全体から事業者負担金を差し引いた分が 3 市町の負担金ということになります。

<議 長>

増便により全てが賄えれば負担いただくことはありませんが、軽井沢～小諸間の区間で見ると赤字になります。その区間を増便するという事は赤字になりますが、増便をすれば当然運賃収入は増えますので、増収分は事業者であるしなの鉄道が負担する、ということです。決算数値と予算数値では大分乖離しますが、結果を見て 3 市町に積算根拠など負担金精算をよく説明させていただきます。

イ. 現状はこのような予算で計上されるということですが、実際の負担金精算で協議いただけるという解釈でよいですか。

<事務局>

自治体の予算取りは、負担金が予算を上回らないよう最大値で予算化していただいていると理解しています。決算の際には説明及び相談をさせていただきます。

ウ. キャラクターラッピング列車の説明資料に負担額がありますが、当町としては予算化

をしていないので予算化しなければなりません。9月の補正予算の数字をすぐに出さなければならぬ時期のため、来週にでも大体の数字がいただければありがたいですが、先程の説明のとおり8万円です。

<事務局>

正確な数字はキャラクターが何体になるかが決まらぬとお示しできませんが、可能であれば8万円＋消費税と若干の変動を考慮して10万円程を確保していただきたいと思ひます。

エ. 負担金はいつまでにお支払しなければならぬのですか。

<事務局>

中吊り広告事業と同じく年度末になります。請求書は3月31日の日付になりますが、4月の第1週にお送りする形になります。

(7) その他 「ろくもん」運行、及び、しなの鉄道開業20周年記念事業について

事務局から説明。

<議長>

当協議会副会長の上田市都市建設部長よりご挨拶いただきます。よろしくお願ひします。

<しなの鉄道活性化協議会副会長>

皆さんこんにちは。初めてお目にかかる方もいらっしゃるかと思ひますが、ただいま紹介いただきました上田市都市建設部長でございます。よろしくお願ひします。

当市は昨年まで政策企画部の中に交通政策課がございましたが、4年前に戻り、都市建設部に交通政策係を配する組織改正がございましたので、今年4月から都市建設部管理課で管轄をすることになりました。

しなの鉄道におかれましては今年度開業20周年を迎えるということで、誠におめでとうございます。20年前の新幹線開業の際に発足したということになりますが、大変懐かしところでございます。20年間上田市をはじめ沿線自治体の多くの皆様の足として活躍いただき、本当にありがとうございます。

しなの鉄道は何と言っても観光列車「ろくもん」が素晴らしいですが、私も3月に信州プレミアムワインプランに試乗させていただきました。ワインを楽しみながらとても優雅な時間を過ごさせていただきました。

昨年はNHK大河ドラマ「真田丸」が放送され大いに盛り上がりました。また、台湾で「真田丸」が放送されたことにより、台湾においても上田市の注目度が高まっている

状況でございます。先月、上田市長がしなの鉄道の社長と上田電鉄の社長と共に台湾に出向き、好感触を得たと伺っています。インバウンドの誘致の他、今月から信州 DC が始まり、更にしなの鉄道も 20 周年ということで、新たな取り組みやイベントを数多く企画されておりますので、このことが地域経済の活性化につながることを期待しています。

最後になりましたが、今後とも当協議会の活動も含め様々なご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げます。

4 閉 会

以 上